

福井県公害センター年報

第 13 卷
1 9 8 3

Annual Report
of
The Environmental Pollution Research Center
of Fukui Prefecture

vol. 13

1 9 8 3

福井県公害センター

は　じ　め　に

大気、水、土壌、生物など私ども日常の生活にかかわりの深い環境は、人間活動にとってきわめて大切なものであり、人間を含めた全生物を育む基盤であります。環境保全業務に携さわるようになって以来、ことのほかこれらの動向が気がかりでなりません。

環境の保全、保護対策は以前に比べ改善されて来ているが充分ではなく、21世紀の到来を間近に控え、すべての人間が環境の保全、保護に目をむけ、力を注がなければ、破壊は速まるばかりで、緊急に諸対策を講ずべきだと思います。

文化的な生活をおびやかす公害を未然に防止し、かけがえのない自然、環境を適正に保全し、良好な環境を創りあげ、私どもの子々孫々に伝えなければならない使命のあることを認識したい。

山を崩し、堤防をコンクリート化し、田畑を潰し、更には集落さえも水没させてしまうこれらの行為は、時代の要請で止むを得ない事業であるが、それら開発に伴う傷痕に対しては、徹底した創意工夫を凝らし、調和のある環境を造成することが必要であると思います。

高度経済成長期の深刻な公害問題は、その後、行政面においても、技術面においても改善が加えられ一応落ち着いてきたので、これ以上の必要性は……との意見を聴くこともあるが、近年ゴミ焼却場から検出されるダイオキシン、使用済みの水銀電池、トリクロロエチレンなどによる地下水の汚染等などの存在が問題視されている今日、規制、監視の手をゆるめることなく、更に充実拡充策を企て、“県民の健康と快適なふるさとづくり”の一翼を担っている責務を全うしてゆきたい。

当センターは公害対策技術部門の担当機関としての役割を分担し、調査、分析、研究を重ね、また職員一同、未規制の分野、自然環境への影響など全域に亘ってのチェック能力を養うに必要な知識を求めて日夜努力しております。

ここに58年度の所報をお手許にお届けします。内容は、1ケ年間の活動記録をまとめたものであり、不十分な点、項目につきましては今後、更に研究を重ねよりよいものにいたしたいと思いますので、忌憚のないご意見をお聞かせ頂ければ非常にありがたい次第であります。

昭和59年 7月

福井県公害センター所長 杉 本 邦 雄

目

次

1 運営概要

1 沿革	1
2 機構	1
3 業務内容	1
4 人員	2
5 業務分担	2
6 予算	4
7 事業実施概要	5
(1) 公害技術会議	5
(2) 公害技術研修	5
(3) 市町村職員技術研修	5
(4) 研究発表会	6
(5) 施設見学者	6
(6) 大気汚染防止対策	6
1) 大気汚染常時監視観測局における測定	6
2) ローボリウムエアースンプラーによる浮遊粒子状物質の測定	26
3) 大気汚染測定車「みどり号」による調査	27
4) 二酸化鉛法による硫黄酸化物濃度調査	28
5) TGS濾紙法による窒素酸化物(二酸化窒素)濃度調査	28
6) 湿性大気汚染調査	28
7) 自動車排出ガス調査	38
8) 浮遊粉じん中の成分調査	39
9) 煙道排ガス調査	43
10) 燃料油中の硫黄分調査	43
11) 環境大気中未規制物質調査	44
12) 騒音, 振動調査	44
13) 悪臭物質実態調査	44
14) スパイクタイヤによる道路粉じん調査	45
15) 固定発生源からの炭化水素調査	48
16) 有害物質発生源調査	48
(7) 水質保全対策	48
1) 公共用水域監視調査	48
2) 事業所排水監視調査	51
3) 三方五湖水質環境調査	51
4) 環境測定分析精度管理調査	52
5) 所排水調査	52
8. 誌上および学会発表抄録	60

2 調査研究報告

1	環境大気中の未規制物質に関する調査研究(第5報) ……	61
	—ベンゾ(a)ピレンについて—	
2	臨工関連道路沿いにおける騒音、振動調査および自動車排出ガス調査について(第2報) ……	69
3	TGS濾紙法による窒素酸化物調査 ……	89
4	ヨウ素酸を用いる石炭中の重金属分析法の検討 ……	99
5	大気汚染物質高濃度発生時の気象条件について(第1報) ……	104
6	福井・坂井地区の窒素酸化物の分布および濃度変動に関する要因の検討(第6報) ……	113
	—NOからNO ₂ への転換度について—	
7	オキシダント濃度上昇時の事例について(昭和58年度) ……	120
8	環境情報の収集について ……	123
9	環境情報データのメッシュ化について(第1報) ……	130
10	公共用水域水質データの電算処理について(第2報) ……	142
	—BODおよびCOD濃度の経年変化グラフの作成について—	
11	着色水に関する調査研究(第4報) ……	146
	—工場排水における測色値と印象評点値との関係—	
12	着色水に関する調査研究(第5報) ……	153
	—公共用水域の着色水汚染調査—	
13	環境排出油の識別に関する基礎研究(第4報) ……	165
	—原油および重油の風化によるHPLCパターンの変化—	
14	環境排出油の識別に関する基礎研究(第5報) ……	170
	—キャピラリーカラムによる原油の識別—	
15	福井県内の分析機関における分析精度管理調査 ……	179
16	全窒素の分析方法の検討 ……	183